

水管理の自動化

POINT 1

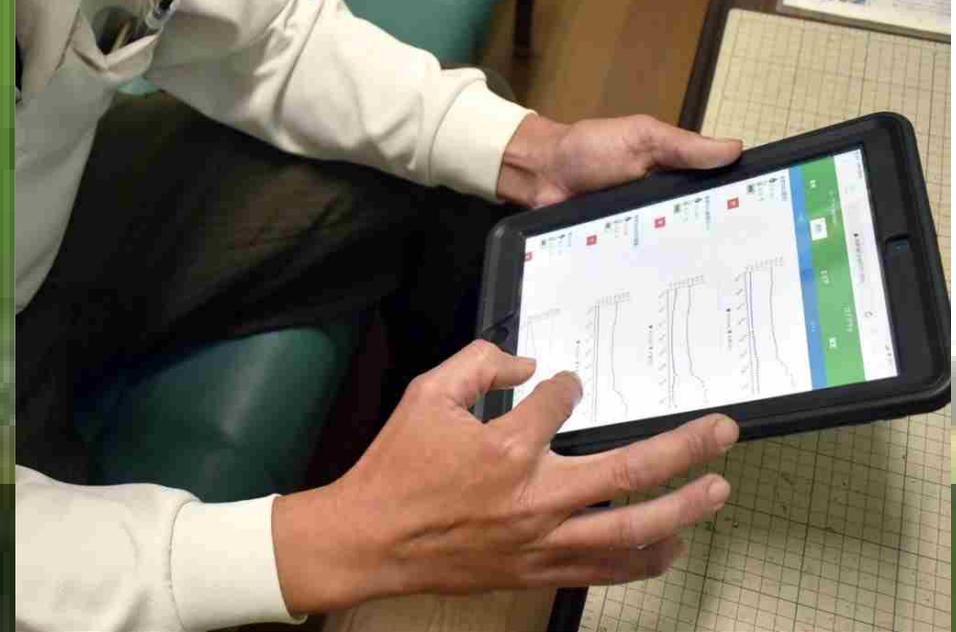
水位に連動して水門・バルブの自動開閉

毎回圃場まで見に行く必要がなくなります。
豪雨時なども手作業で調整する必要なし

POINT 2

水温・気温に連動して水門・バルブの自動開閉

水温に合わせて自動で水門・バルブを開閉
高温障害による品質低下を予防



生産者自身がパラメタを設定

成功・失敗のやった感をデータ化
自分でつぶやける

<https://enowa.jp/>



(株)笑農和：スマート水田システム「paditch」

paditchシステム systems



- ① **遠隔で水門の開閉が可能に**
⇒ 見まわり順序など作業効率があがります。
- ② **深夜の水入れをタイマーで設定可能**
⇒ 深夜の水入れ、朝方の水止めがタイマーで設定できます。
- ③ **水が抜けると異常アラートでお知らせ**
⇒ 逆流や畦からの漏れが分かります。
- ④ **細目な入水管理が可能**
⇒ 水温を見ながら高温障害を防ぎます。



Enjoyment Of Wonderful Agriculture

【対象営農類型】

水稲	畑作	露地野菜	施設野菜	果樹	茶
----	----	------	------	----	---



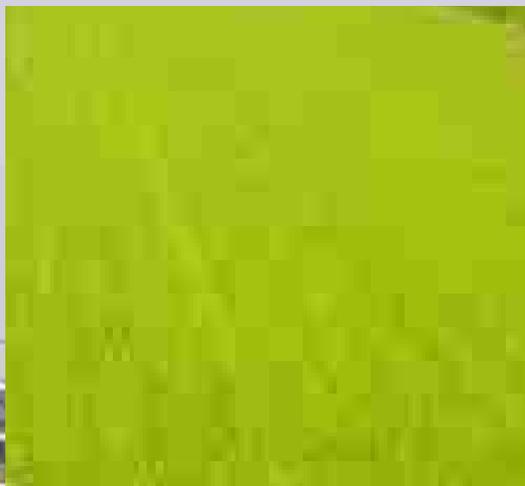
- スマート水田システムである、「paditch（パディッチ）」を販売。
- 設置水田で計測した水位・水温を、利用者が手元のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで監視可能。加えて、水門をタイマーまたは遠隔で開閉可能。水位と連動した自動制御も行う事が可能。

☞ 連絡先
(株)笑農和
TEL:076-482-3998
paditch_support@enowa.jp



スマート追肥システム

READ MORE



葉色を見ながら加減



生育状況に合わせて
肥料を散布



スマート追肥システム





技術(機械)名:スマート追肥システム

会社名 井関農機(株) 担当部署 先端技術部
連絡先 089-957-3311

概要

スマート追肥システムは、作物の生育状態を乗用管理機に搭載した生育センサによりリアルタイムにセンシングを行ないながら、生育状態に合わせて最適量の追肥(施肥)を自動で行なうシステムである。作物の生育状態に合わせて追肥をすることで、その後の生育状態が均一になり、収穫の際に収量を確保し品質を安定させることが可能となる。

システム構成は乗用管理機JKBIに作物の生育を測定するCrop Specと肥料散布を行なうブームタブラを搭載し、それぞれのシステム間で情報伝達を行いながら作業を行なうものとなっている。作物が生長し肥料が必要なタイミングでほ場内で作業を行なうことで、センシングと施肥を同時に行なうシステムとなっている。適応作物は稲・麦である。

効果

稲の場合、7月～8月の夏の時期に稲の成長に合わせて適正時期に追肥を行なう必要がある。

農家は収量を確保し品質を安定させるために、一つ一つのほ場に入り生育状態を葉の色と葉色板(カラースケール)とを比較しながら判断し、施肥量を調整していた。しかしながら瞬時に葉の色を見て判断を行う作業は熟練を要し、また重労働であったことから、経験の浅いオペレータでは行なえない作業であった。スマート追肥システムはこれらの作業を自動で行なうことができるシステムであり、本機に搭載したGNSS情報と測定した生育状態・施肥量を紐つけてマップ化することで、経験と勘の農業から、誰もが出来る農業へ変革させることができる画期的なシステムとなっている。また、大規模化や新規就労者への対応も可能で、品質の安定化が実現することで農業の生産性を大幅に向上させることができる。

写真、図表等



倒伏判定システム